



議会だより

TSUNAN-TOWN

2009年1月20日発行

つなんまち

No.173

2009.1.20 JANUARY

12月定例会：12/16～12/18

議長新年の挨拶・補正予算	p2
条例改正・請願・意見書	p3
一般質問(9名)・人事	p4～8
21年度建築要望	p9～11
シリーズ 私もひと言	p12

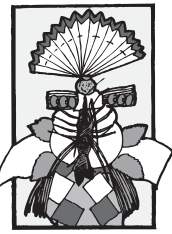


新年のご挨拶

津南町議会議長
藤ノ木 富有

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、まさしく多事多難な一年でしたが、津南中学校が新潟県代表として、全国中学校駅伝大会で快走したことは、私たちに希望と勇気をいただきました。当議会は「町民とともに歩む議会」を旗印に船出をして一年が経過いたしました。公約の議会報告会は6月17、18日、8集落で開催することができましたが、反省点も多くあります。

本年からは3月予算議会の報告を中心に4月下旬開催させていただく予定です。加えて、本年3月定例会から議員の一般質問に対して、論点、争点を明確にするための当局側からの反問・逆質問を取り入れることといたしました。



本年も決意を新たに、議



昨年に続き年末に配りました



“たいむたもの” 全国堂々の12位

平成20年度 一般・特別会計補正予算

主な内容

校舎耐震診断委託料	600万円	…中津小、津南小で耐震診断の実施予定
生徒選奨費	154万3千円	…全国中学校駅伝大会遠征費
農地費	300万円	…上野ため池の老朽化による修繕費 (3カ年計画で実施)
出産育児一時金	△206万円	…国保被保険者の方の出産育児一時金 9名減による
原油高騰対策補助金	175万円	…昨年に続き350世帯に灯油購入費補助
◎一般会計予算		
補正額	42,079千円	
総額	5,707,347千円	
◎国民健康保険		
補正額	1,444千円	
総額	1,067,412千円	
◎老人保健		
補正額	1,200千円	
総額	180,821千円	
◎介護保険		
補正額	2,912千円	
総額	1,254,766千円	
◎簡易水道		
補正額	8,736千円	
総額	137,876千円	
◎下水道		
補正額	5,987千円	
総額	642,515千円	

条例の改正

- ◆津南町税条例の一部改正 (全員賛成)
- ◆津南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正 (全員賛成)
- ◆津南町国民健康保険条例の一部改正 (全員賛成)
- 要旨 出産育児一時金40万円を43万円に改正
- ◆津南町農業廃棄物処理場設置条例の一部改正 (賛成多数)
- 要旨 へい獣処分一頭二、一〇〇円以内を三、一〇〇円以内に改める
- ◆津南町立学校設置条例を改正 (賛成12人 反対3人)
- 要旨 三箇小学校、津南原小学校を平成二十二年四月一日に、津南小学校に統合するための条例改正

請願

- ◆ミニムムアクセス米の輸入停止を求める請願 (全員賛成)
- 要旨 ミニムムアクセス米の輸入を停止すること。

意見書

- ◆道路整備財源の確保等に関する意見書 (全員賛成)
- 要旨 地方財源の充実強化、現行税率維持、新たな交付金の地方自由度拡大を要望。

津南町立学校設置条例討議要旨

反対討論

大島 知美 議員

数の論理ではない、子供達のことを考えてのことだ、と言うが本音がそうか。今社会は二一ト、うつ病、パニック症候群、しいて言えば中一ギャップという新しい言葉も生まれている。津南は不登校生の割合が県下2番目という。学力はどうか。豊かな心はどうか、社会現象はどうか、生きてゆく力をはぐくまなくてはならない。適正規模検討委員会で検討したというが、自律津南町、多種多様な教育、それを一校に集約することがいいのだろうか。小規模校のい所を充分伸ばし、相互交流を深めることが可能と思う。本格的議論が始まったばかり、急ぐことなく議論を重ねることが必要であり、反対討論とする。

賛成討論

草津 進 議員

児童生徒数の減少によって複式学級が増加し、5年10年先を見るにあたり、種々の問題が発生し、学校運営上の状況変化を予想し、町立小中学校適正規模検討委員会に27名が委嘱を受け諮問に対し検討を進めて答申した。小規模校として考えられる長所短所について、アンケート、地域関係者との意見交換会を高い見地から幅広く協議を重ね、三箇小学校、津南原小学校については一学年一人のクラスも存在し憂慮されることから可能な限り早い段階での検討が迫られたり、一桁台の児童数となることをかんがみ、平成22年度に津南小学校への統合を答申した。各学校とも地域の歴史と歩んできた、学校への愛情は根強いものがあり、校舎の跡地利用等地域住民の要望をしつ

り受け賛成討論とする。

反対討論

半戸 哲郎 議員

学校統合の進め方について疑義を感じ反対討論とする。まず、答申がでて、何年に統合すると教委が決定し、学区で話し合いをしろでは話し合いにならない。白紙の段階で学区の皆さま、町当局との議論をし、勉強を重ねる中で結論を出してほしかった。三箇、津南原小学校については、保育所統合問題の時点で小学校も合わせて話し出すべきであった。小規模校ではなげいけなのか、日本全国で小規模校が特色ある学校として頑張っている。例として二つの学校を紹介しながら、津南町ならではの独自の教育方針を定め津南の子供はチョット違うぞと言われる特色ある教育環境が必要でないか。白紙の段階からもっと協議することを要望し反対討論とする。

賛成討論

大口 武 議員

津南原小学校がなくなるといことを残念に思いながら意見を申し上げやむを得ず賛成討論とする。町教委は一貫して財政上の問題ではなく、複式学級の子供達の学力が劣るのではなく、社会性が育ちにくい、児童の少ない小規模校での教育は人間形成に不向きということであった。教育上望ましい規模として切磋琢磨し合いながら社会性を養うことの出来る学校、集団による教育活動が成立する学校生活を目標とした統合を進めている。全校で児童数が一桁では大変である。

反対討論

藤木 正喜 議員

今後の統合問題については安易な統合はさけるべきである。あえて、三箇小学校についてはふれず、津南原小学校の統合について地域住民の総意ということで賛成するものである。

賛成討論

伊林 康男 議員

自立の町津南町が教育という大きな正念場を迎えているのであれば、教育も自立し、新しい教育をめざすべきである。独自教育の豊かさのある教育が出来ないのか、心の荒廃が進む中で海の中に放りこまず、自立を選んだ町で小さな学校で独自の教育を行ったらどうか。子供達の心を大切にしたらどうか。もっとも次世代の子供達のために審議が必要である。あまりにも短期間での結論を急ぐやり方に対して反対討論とする。

賛成討論

伊林 康男 議員

児童憲章の中で「児童はよい環境の中で育てられる」と明記されている。子供達にとって最良の学び舎はなにかについて町民と議論を重ねてきた。町当局は6月、9月議会の条例改正を見送り、当該地域住民のコンセンサスを行う時間を充分とり、各地域できめ細かな説明会を行い議論を深めてきた。地域住民にとって廃校には耐え難い空虚さを禁じ得ないものであると推測するものであるが、しかしながら人間形成において教育的環境を考え、両校区とも地域住民アンケート、総会結果は統合賛成が大多数であり、この議論においても全てつくされたとは言えないが賛成討論とする。

半戸 哲郎 議員

現行の転作制度に反対する考えは

町長…米価安定のためにはやむを得ない

問 MA米の輸入について反対は
町長 事故米が食用に流用されたことについてどう思うか。

町長 汚染米を輸入した事は食料生産を基幹としている津南町として誠に残念であり、不正をした企業は厳しく処罰されるべきである。

問 現行の転作制度に反対する考えはないか。
町長 今以上の生産拡大は価格低下の恐れがあり、販売量にあつた生産をすることが魚沼米を守ることになる。

問 「米粉」需要が拡大する中転作として米粉対応米の生産をしたらどうか。
町長 米粉の利用については民間業者も含め前向きに取り組んで行きたい。民間業者と議論を進め工場用地の取得を行った。農水省も力を入れていることから期待をしている。

問 MA米輸入反対の宣言をしたらどうか。
町長 県の市長会、町村会共々要望書等で国に対し強く要請をしている。

サル被害の対策は

問 鳥獣被害は深刻であり、特に上郷地域のサル被害については目に余るものがある。早急に対策を講じられたい。又、クマ対策は。
町長 全国的に被害が発生しているため国でも対策に力を入れている。地域においても追払い組織のようなものを作っていたとき、地域の方々と一緒にこの対策にあたって行きたい。今後勉強をし研究をしながら対応してまいりたい。

税務町民課長 サルの生態について知らないところもあるので充分勉強し検討しながら、追払いや銃による駆除の両方で進めて行きたい。又、クマについては捕殺と学習放獣を実施している。



朴木沢集落内を荒らすサル (写真中に5頭)

高橋 孝男 議員

町政と町の将来について

町長…職場と住宅政策を全力で

今後の人口予測と

残任期間の対応は

問 人口減少による懸念と対応策は。
町長 全国的な人口減の社会現象化が予測されるが、町の有する資源を活用し、定住促進策や交流人口増を図って参りたい。

問 職場増をどう進めるか。
町長 食品加工を中心に増大を図りたい。

問 働く者の住宅確保対策は。
町長 職場確保と密接な関係がある。空き屋調査とその活用、またIターンUターンに引き続き努力して参りたい。

問 町の経済状況をどう考えるか。
町長 世界的な金融危機等の影響で国内全体さらに地域経済も非常に厳しいと認識。しかし地域資源を活かし、森林組合において食品加工場の増設を図る等民間事業者とも協力し全力で立ち向かう。

問 津南の産業は一つの考え方はそれでよいか。
町長 本町は農林業が牽引役となり、各産業業種が密接に関連し共に支え合ってきた。そのとおりと考える。

問 商店街再開発117号迂回路旭町通り歩道設置促進を。
町長 商店街迂回路議論したい。旭町通りの改良に積極的に取り組む。

問 小水力発電に対する考えは。
町長 推進の方向で関係機関と議論を重ねてきた。今後も土地改良区を始め関係機関とともに具体化に向け努力したい。

問 知的障害者福祉の取組みは。
町長 自立した生活を支援する方策として介護サービスの有効的活用を図って参りたい。

問 ニューグリーンピアの福祉施設計画は。
町長 当面の厳しい経済情勢等から光善会より延期の申し出を受けた。

問 鳥獣被害対策と猟友会員は。
町長 対策に力を入れる。(税務町民課長・捕獲報奨金検討したい) 猟友会現32名。減少傾向にあり会の活動に協力していく。



期待が寄せられる小水力発電の可能性を探る

大平 謙一 議員

来年度の自主財源と交付税の見込みは

町長…町税全体で前年比5%減

町税は個人法人共に減収見込みで痛手

問 地方の市町村の自主財源確保は厳しさを増している。来年度税収見通しは。
町長 個人町民税、法人町民税も景気回復が望めず減収の見込である。法人については原発停止が続いている東電の減収は大きい。固定資産税についても、来年は三年に一回の評価替え年度で経年補正により減収が見込まれ、町税全体で前年当初予算比おおむね5%の減収と見込んでいる。地方交付税については制度の目的である財政調整機能を守ってもらう事を要望している。

ふるさと納税は十一月末において115万3800円の御寄付をいただいている。新税源については市町村関係団体と協調し要望していく。

来年度の転作への取組と県間調整見通しは

転作達成は県間調整が必要



考えたい利活用

小中学生のケータイ使用への指導は

問 小・中学生のケータイ、パソコン使用による事故対策は。
教育長 文明の利器は利用しだいで危険な二面性をもっている。生徒、保護者へ使用方法について注意喚起、啓発を警察と協力し行う。

また転作の公平性をどのように保つのか。
町長 県は今年末達成で1490トンの減少配分だが当町は本年と同程度だと思う。国は来年も県間調整を続ける。当町も参加したいと考えている。来年は転作連絡員と農業委員による現地確認をお願いする。

滝沢 茂光 議員

拡大続ける獣被害の対策を

町長…今後はより早く対応を行いたい

飼料、肥料の高騰に加え熊被害で三重苦の畜酪

問 開発畑を活用した粗飼料自給は酪農、肉牛生産者にとり大きなメリットも、被害総額730万円以上もの熊の被害は重く経営を圧迫しデメリット化してしまった。スイートコーン被害も含めると更に大きな被害額となっている。今日までの熊対策の甘さが被害の拡大を招いたと考えるがそれぞれお答え下さい。

町長 今後はより早い段階で対応したい。

税務町民課長 毎年有害鳥獣捕獲会議で情報交換し、実施計画を作成し対応しているが、今年度は予期せぬほどの出没と被害が発生した。今後は早めの対応と会議を重ね対処したい。

地域振興課長 野生動物植物との共存共栄も大切。生産活動に影響大となればバランスをとりながら学習放獣、捕殺もあわせ早めの対応で今年のような事のないよう努力したい。

また転作の公平性をどのように保つのか。
町長 県は今年末達成で1490トンの減少配分だが当町は本年と同程度だと思う。国は来年も県間調整を続ける。当町も参加したいと考えている。来年は転作連絡員と農業委員による現地確認をお願いする。

猿等の被害は山間集落の生活を直撃している

問 猿等の被害は脅威的に山間集落に拡大している。現実を直視し確固たる対策を。又30年40年前は熊等は里にはいなかった。以前の様に安心して又安全に生活が送れるように又農業を続けられる環境を取り戻してもらいたい。



収穫間近の畑を荒らす熊

藤ノ木 浩子 議員

子どもから保険証をとりあげないで 町長…資格証の世帯でも子どもは短期証に

子どもに資格証を 発行すべきでない

問 親が国保料を払えないために「無保険」の状態になっている子どもがいることが、厚労省の調査で明らかになった。当町も該当する子どもがいるが、滞納について子どもには責任はなく、子どもへの必要な医療を保障するためにも資格証明書発行はしてはならないと考えるが対応を伺う。

町長 子どもにはいつでも医療を受けて頂くよう環境整備に努める必要があると認識している。資格証発行世帯であっても、18歳以下の子供には短期証とし、12月1日より実施している。

問 悪質滞納でなく、払いたくも払えない世帯には、保険証そのものを取り上げないで。

福祉保健課長 悪質さについては納めるのが可能であるのに納付相談に応じない、忘れて来ないなどは対応せざるを得ない。減免制度の話や生活相談もしている。

途中入所できない 状態はさけるべきだ

問 年度途中で子どもを保育園に預け働きたいとする保護者が増えているが、入所できない子や隣村に通園せざるを得ない状況は改善すべきである。また、町内1カ所の保育園が対応できる体制を取れないのか。

町長 3歳未満の途中入所は受け入れ可能であれば対応するが、職員配置に困難が生じたり、入所している園児にも影響があり、年度初めからの入所をお願いしたい。職員の適正配置には、ある程度の園児数を確保した運営も今後課題である。



子どもの健康を守ってほしい

福原 照男 議員

灯油購入費の増額と 住宅用火災報知機の配布を 町長…昨年に引き続き灯油補助は行う

火報機は町職員・消防 団員は100%設置

問 低所得者世帯を対象とした、灯油購入費助成の増額の考えはないか。また、住宅用火災報知機の設置で町が低所得者世帯に配付が出来ないか。

町長 灯油購入費助成は行う、増額は考えていない。

火災警報器については町職員、消防団員は100%設置をお願いする。一般家庭については消防署で検討している。弱者世帯は火災警報機能のあるホットライン108台で対応している。

消費生活センターの 設置を

問 悪質業者対策として、消費生活センターの設置を考えないか。

町長 トラブルは昨年18件、今年22件発生している。専門的案内については、県弁護士会による相談会に対応している。新年度は6回の相談会を行う。



水はぬしない運転者のマナーを

通学路等消雪水対策は

問 洪水と変わる道路の水はね対策と排水路改良はどうなっているか。

町長 国県道は井戸掘削、消パイ布替え等行いながら解消に努めている。水はねは、運転者のマナーと考える。

大口 武 議員

国の農政によって対応するが 町長…食料自給権は生存権そのもの

食糧生産の他国まかせは 許されない

問 WTO農業交渉で日本はさらなる譲歩を求められており、現状の推移をみればミニマムアクセス米は現在の77万トンから114万トンまで増加することになる。穀物で唯一自給が可能なコメ生産がまたまた大打撃を受けることになる。食糧生産を他国まかせにすることは許されない。

WTO農業交渉は貿易拡大ではなく貧困の拡大、気候変動など地球規模の課題解決に役立つよう抜本的に見直すべきであり、食料増産を通じて食料主権の確立こそ必要だ。農業交渉の現況の受け入れを認めることはできない。

町長 モダリティ議長案がいずれ通るとすれば日本農業は極めて厳しい結果になる。食料自給権は生存権そのもので世界的にも国内的にも秩序ある取引ルールをもとめていくべきである。

今回の改定案は米輸入がさらに推し進められようとしているが、



国に届け農民の声

全国民あげて国民の食料は自ら守る、生産するという強い意志と自覚が必要だ。

市長会、町村会もこの視点について強く要請しており、農業団体行政はこのことに関する対応を団結、連携しながらもとめていく。

問 いまこそ、コメ輸入反対宣言をした町として、農を以って立町の基と為す町としてミニマムアクセス米やめるの声をあげるべきだ。

町長 かつての米価運動など活発だった。今後の推移を見なければならぬが、農業委員会や農協長とも相談しながら対応したい。

藤木 正喜 議員

建設業界による入札談合の疑いは 町長…そのような事実はない

入札に関して偏りが あるように思われるが

問 町が発注者である建設工事において一般の方から私に談合情報や寄せられたが、町としてはどのように認識しているのか。また今後どのような対応をするのか。

町長 町政始まって以来、談合情報は寄せられていないし、官製談合の事実もない。

問 談合により下請け業者の悲惨な状況は把握しているのか。管理費と称したピンハネは10%半ばと聞き、材料の有償支給に対してはも更に経費を上乗せしているが。

副町長 元請と下請はお互いに納得しているわけだし、中身には町としては介入するつもりはない。

問 入札結果に大きな偏りがあり、特に町長を支援する関連企業2社の落札件数が際立って多いが、入札結果の事後的、統計的分析は行っているのか。

町長 特定の業界、会社から支援を受けている事実は全くない。

自立プランの 進捗状況の検証は

問 現時点での進捗状況の概要と残り1年半の任期中に何をどこまで具現化するのか。

町長 全体として19年度末までに実施済み105件、一部実施済み88件、検討中74件、未実施55件であり、具体的な内容としては新年度予算に提出する。

問 自分で立つ「自立」と自分を律する「自律」の意味が違うが「自律の町・津南」とはどのような町なのか。

町長 45%の地方交付税依存の状況では自ら立つ「自立」はおこがましく、まずは自ら律する「自律」から町づくりを行い、将来的には「自立」ができるよう町づくりを行いたい。



議員控え室にある入札公表兼結果調査書

障がい者への基本的考えと対応は

町長 県のバリアフリーづくり事業と協議

出来る事出来ない事はつきりさせて欲しい

問 健康者といわれる人の前に岩があると、それを障害ということだと考えるに同じく、障がい者の前に段差や階段があることが障害となるのだと考える。昭和61年に「人権尊重の町」を宣言している当町は障がい者団体の要望に対して今後どのような考えで対応するのか伺う。

町長 文化センターのエレベーター設置については兼ねがね承知を致しておるところである。外付けは構造上できず、内部は1階ロビーから考えられるが、2階が使えなくなり、3階への階段の大幅な改修が必要となり利用に不都合を生じるので改修も出来ない。車椅子の方の2階以上の利用については図書室又は宿直室の職員に声をかけて頂き対応したい。

問 歩道を車椅子で通りづらいのだが。

町長 国道改良が昭和五十年代であり、当時はマウンドアップ型が

主流であった。フラット型に改良は現時点では厳しい。県ではバリアフリーまちづくり事業を実施しているので協議をしたい。

問 役場以外の障がい者トイレの設置はどうか。

町長 現在の外部トイレには障がい者用トイレを設置するスペースがない。

広報無線は有効に活用されているか

問 広報無線が設置されていない学校があったが。

町長 学校管理者の責任である。現在更新中であり、外部アンテナが必要な学校もあるが、住宅を優先させている。



車椅子に障害となる歩道面

人事

任期満了に伴い左記の役職の推薦。選任を全員賛成で同意致しました

人権擁護委員

(法務省より委嘱)

山田隆一氏(再任)

- 略歴
- 職歴
- 昭和58年5月 曹洞宗龍昌寺副住職
- 平成6年7月 曹洞宗龍昌寺住職
- その他
- 平成15年4月 人権擁護委員に新任され現任に至る

南雲一郎氏(再任)

- 略歴
- 職歴
- 昭和35年8月 新潟県公立学校教員採用
- 平成4年3月 県立津南高等学校教員退職
- 平成6年4月 県立津南高等学校非常勤講師着任

平成7年3月

県立津南高等学校非常勤講師 退任

賞罰：平成4年7月20日 永年(30年)勤続優良職員として 新潟県教育委員会より表彰 ※任期平成21年4月より3年

固定資産評価審査委員

(津南町より選任)

中島宏和氏(再任)

- 略歴
- 職歴
- 昭和33年 農業に従事
- 昭和50年 農業兼食品販売業
- その他
- 平成8年7月29日〜平成11年7月28日まで町農業委員
- 平成11年12月21日より固定資産評価委員に新任され現任に至る ※任期平成20年12月21日より3年

平成21年度建策要望

平成21年度の予算編成にあたって、各常任委員会より83件の要望を行いました。その中から、主要な要望を抜粋し掲載いたします。

総文福祉常任委員会

【総務関係】

◆地方財源確保のため、地方交付税の増額を削減しないよう国に強く働きかけたい。あわせて自主財源の確保及び、全国森林環境税の創設に努められたい。

町長 地方財源確保には、地方6団体が結束し強力に中央に訴えている。特に地方交付税の復元をはじめ税源移譲や環境施策において町村の果たしている役割及び財政負担を十分勘案し町村財源が強化されるよう「環境税」の早期導入についても要望している。自主財源確保には今後とも万策を講じ研究していく。

◆「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月で失効するが、引き続き総合的な過疎対策を充実強化するため、関係団体と連携して、新たな

過疎対策法の制定を国に強く働きかけられたい。

町長 新過疎法の制定実現に向け全国過疎地域自立促進連盟を中心に活動を展開している。

◆新エネルギーの調査研究を引き続き進め、その結果を公表されたい。

町長 新エネルギーの調査研究は引き続き検討していきたい。公表できる資料は公表していきたい。

【学校教育関係】

◆義務教育に係る税外負担は極力避けられたい。

町長 義務教育の税外負担は極力避けるよう努めている。部活関係やPTA、学校後援会等の経費は、それぞれの組織等で決められるものである。

◆複式学級基準の引き

下げを要望されると共に、教員の加配に配慮されたい。

町長 複式学級基準の引下げについては更なる改善を要望していききたい。容易に改善できる状況ではないが少人数学級、習熟度別学習、複式学級対応などのほか、生徒指導、学習困難児童対応の教師増員を要望していききたいと考えている。町単独では複式緩和のための講師及び、国際理解・英語教育のためのALTを任用している。

◆生徒児童の登下校時の安全確保を図られたい。

町長 小学校では集団での登下校を行っている。地域からも子供たちを守っていただき



耐震診断が実施される中津小学校

◆校舎の耐震対策等の安全性を確保されたい。

町長 旧建築基準法で建設された校舎等の耐震化優先度調査を行った。優先度が高い校舎等の耐震診断を順次、実施し必要な場合には耐震化改修を行っている。

【生涯学習関係】

◆社会体育について、指導員等の育成と待遇改善を図ると共に、特に常勤指導員の待遇改善に配慮されたい。

町長 体育指導員を補佐する



総合体育館機能が望まれる総合センター

体育推進員を各地に配置したり、各スポーツ団体に於いて指導者としての資質を高める育成指導を行っている。待遇改善については経済状況の変化に対応した措置を考えている。

◆中津川運動公園の総合グラウンド造成に早期着工され、総合体育館の体育施設の整備充実を早期に図られたい。

町長 運動公園については、大倉トンネルが工事中であり使用ができない状態となっている。工事の進捗状況を見て検討していきたい。体育館は当面現有施設の適正な保守管理の中で効率的な運用を図っていく。

【福祉保健関係】

◆介護予防、生活支援体制の確立を図ると共に、在宅サービスの充実を図られたい。施設利用料の負担軽減について国に改善を求めていただきたい。

町長 地域包括支援センターが介護予防、生活支援体制の要を担っており、地域密着型サービスの施設が年次的に整備され在宅サービスの充実が図られている。訪問及び通所系サービスの利用料の負担軽減の支援は継続して行く。施設利用料については制度上のことであり自治体において独自の負担軽減を図ることは困難である。負担増に伴う利用者への声については、国県に伝えると共に軽減策を要望する。

◆少子化対策として子どもの医療費助成の充実、保育料の思い切った軽減等子育て支援に力を入れていただきたい。

町長 子どもの医療費助成については他市町村に先駆けて助成内容の充実を図ってきた。現在も入院は小学校卒業まで、通院は就学前までを対象に県制度を上回る内容で実施しているが、更なる充実も検討していきたい。保育料の軽減対策や通園補助は継続して実施

して行きたい。子育て支援センターの充実についても引き続き努力して行きたい。

【病院関係】

◆地域医療充実のために津南病院の整形外科、小児科の常勤医師の確保に努められたい。地域中核病院としての機能充実を県に要請されたい。

町長 診療科は現在10科あるが、常勤医師については内科5名、外科1名、歯科1名の合計7名となっている。整形外科、小児科の常勤医師派遣は今後も大学に要請を積極的に働きかけて行きたい。十日町病院との連携については外科、産婦人科の医師派遣を受けている。今後も病院の機能分担を図りながら一層協力関係を深めて行きたい。

◆療養病床の削減はしないでいただきたい。

町長 現状の継続に努めて行きたい。

産業建設常任委員会

【農林関係】

◆山麓地区外の土地改良事業中山間地総合整備事業等についても早急に着手されたい。

町長 地区外の未整備地区については、県営中山間地域総合整備事業で実施することになっており、18年・19年・20年の3ヶ年調査設計事業を実施し、21年から着工することになっている。外丸地区については、県営経営体育成基盤整備事業での採択を要望している。



療養病床は削減しないで

◆農業の近代化と経営の安定を目指す中で各農業団体との連携を強化すると共に意欲ある農業者及び関連企業にも積極的な施策を講じられたい。

町長 各農業団体との連携については、農業振興を図るため地域振興局や普及指導センター、高冷地農業技術センター等、県出先機関はもちろんだ、地元JAや各生産団体、組織と意思の疎通を図り連携して活動を行っている。

◆畜産経営にあたっては適切な経営指導及び環境整備のための指導と糞尿処理施設に対して助成を図られたい。

町長 畜産農家の健全経営推進のため、県畜産会の定期的コンサルや指導を願っている他、予防注射の補助、悪臭対策への支援を実施してきた。糞尿処理対策については、飼育環境の実施を考慮しながら補助やリソース事業の導入を行ってきているが臭気対策については畜産農家の努力も願わなければならない。



県営事業に伴う遺跡試掘調査（加用地内）

◆付加価値を高めるため農産物の加工、特産品の開発支援を積極的に進められたい。

町長 今後も地域内農産物の加工による高付加価値化が必要であり指導と支援を行ってゆく。現在、森林組合が多額を担っており雇用面でも効果が大きい。

◆農業後継者対策は新規参入者だけでなく既存農家の後継者にも補助金を出して育てる施策を講じられたい。

町長 後継者支援事業については従来から新規参入者だけでなく農家後継者にも支援を行っている。

【商工観光関係】

◆商工業振興のため産業開発に努めるためにも町として広く情報を公開し、窓口を設けられたい。

町長 産業振興は地域の活力維持、向上にとつて極めて重要である。町の施策だけでなく町民自ら起業する、自らここで生きて行くため研鑽努力をしてみる、外から人材を確保する等々の取組みも大切である。町が有している情報はできる限り公開し共同で町づくりを進めることが重要である。

◆不況の中において雇用の確保は緊急の要請となっている。雇用機会の開発に努められたい。

町長 企業誘致はなかなか難しい面もある。尚、ここ数年農産物の加工や流通で事業を拡大し雇用が伸びている町内企業も数社あるほか、進出企業においても工場増設を行っており雇用は拡大している。地域環境や資源を考えながら新たな部門にも目を向けていただきたい。

◆官公需の地元利用率を引き続き高められたい。

町長 官公需の地元利用率を高めることは当然であり、こ

れからもその方針で臨みたい。

◆村おこし事業を推進し町民一体となった地域活性化のための指導援助強化、確立を図られたい。

町長 村おこし推進については各種の事業を活用しながら一方では自らの地域のこと自らは基本とし、行政と町民が共に協働して町づくりを進めることが必要と考えている。

◆建設関係

◆国道117号大倉バイパスの早期完工。

町長 平成20年度は当初予算費1.5倍であったが、ようやく平成21年度に貫通することになっている。しかし、貫通しても巻き立て、電気・安全設備及びトンネル前後の取り付け等に時間を要するものであり早期完成に向け強く要望してまいりたい。

◆国道405号津南・秋山・長野原間の改良整備と併せ9トン制限の前期橋架け替えの早期着工に努力されたい。

町長 405号の



掘削工事の進む大倉トンネル

改良整備は反里口見玉の拡幅、黒滝橋から第一スノーシールド間の拡幅、清水川原のスノーシールドの早期完成を要望している。前倉橋の架け替えも重点箇所として要望しているが現時点では新規は困難とのことであり相当厳しい状況である。

◆中津川床固工の早期完了について積極的に努力されたい。

町長 中津川床固工は、石坂橋下流4号床固工を今年も冬工事で行う。今後も継続して行く予定である。

◆道路財源確保に努め町道（生活道路）の改良並びに舗装事業の推進に努力されたい。

町長 町道改良は幹線道路、集落内道路共に多くの要望が寄せられているので、優先度を勘案し財源確保も含め計画的な実施ができるよう検討して参りたい。

◆除雪路線の延長について一層努力すると共に生活道路確保のために消雪パイプの設置を図られたい。又、

◆除雪パイプの設置を現行の工事費限度額の引き上げ等、負担の軽減を図りたい。尚、町道（集落内）の電気料も助成対象とされたい。

町長 改良工事の完了した路線は除雪路線に組み込んでまいりたい。消雪パイプは住宅密集地を優先的に取組んできたが、箇所も多くなってきたので維持管理にも努めてまいりたい。工事費限度額の引上げと集落内道路の電気料助成について現状では厳しいと考えている。

◆住民負担を考慮するなかで下水道のつなぎ込みに対して努力されたい。

町長 下水道のつなぎ込みに



改良工事の完了した集落内道路

◆産業廃棄物の処理について近隣市町村等との広域対応に努力されたい。

町長 事業者の責任であるが産業振興という観点から農業用廃プラ、へい獣処理については町で対応している。建築廃材については炭化施設で有効利用している。色々な面について近隣市町村と連携して効果的な処理を図って行きたい。



「学校統合」に思う

中子 半戸ヨシイさん

暮れに上越に行ってきました。途中「子は地域の宝」と書かれた角柱が何本も立っていました。津南町も出生数がここ数年50人台まさに次代を担う「子は地域の宝」です。3700世帯あつて自然減少数の方が多い現状では、学校統合は止むを得ないのではないのでしょうか！

歴史ある母校が閉じることには断腸の思いであります。私は時代の推移であれば、子供達により良い環境で学んでほしい、多人数の教室で仲間意識を保ちながら切磋琢磨してほしいと願うものです。地域の活力は学校に依存することなく、住民一人ひとりが個々の意識を高揚させて、自ら出来ること

を他人任せにせず、議会、行政のご指導を仰ぎながら、協同して地域力を高めれば衰退することはないと思うのです。

「国があなたに何をしてくれるかではなく、あなたが国に何を成し得るかを問い給え」これはケネディ大統領の就任演説の一節です。当時司法長官であつたロバート・ケネディ氏は、40年後になれば黒人の大統領が誕生するだろうと予見していたそうです。27才の優秀な草稿スタッフを抱えたオバマ次期大統領の就任演説を楽しみにしている一人です。またひとつ、人生の指針たるべき名文句に出会えるかもしれませぬから。



元気の源

割野きのご組合 古川美津代さん

「またお笑いかあ」「他に面白い番組はないの？」なんて会話が毎年恒例の年末年始。今年も沢山の芸人さん達がお正月を盛り上げてくれました。お笑いブームといわれる昨今。いくつものお笑い番組が新しい芸人さんを取り上げ、子供達がこぞってマネをし、流行語大賞にも決まってノミネート。大不景気の中、お笑いは本当に元気です。

年末にM1グランプリというお笑いの大会があつて、私の知人が決勝まで残りました。以前お世話になつた方で、今更にあまり売れていなかったんですが、この頃テレビでも良く見かけられるようになり嬉しい限りです。彼は私

と同じ30才。深夜のアルバイトをしながら、全国各地を営業で回り、自分でチケツトを売ったりして生活しています。お笑い芸人になりたい！という人は結構いると思います。でも、売れるかどうかは分からない。何の保障もない、自分の実力と努力と運の世界で、夢を諦めずにもち続けることは、何てすごいことだろうと思えます。不安がない訳がない。それでも自分を信じて、自分を売って行く。お笑いブームのパワの源がそこにある気がします。そして、そこに津南を元気にするヒントもあるのではないのでしょうか。

編集後記

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年の暮れ21日津南中チームが全国中学校駅伝大会で大健闘、今後の各種スキー大会での期待も膨らむ。

世界ではリーマンショックからの世界同時経済恐慌、燃料や穀物相場もマネーゲームの対象となり、諸物価の高騰をまねいた。

鉱・工業立国として半世紀にわたり労働力を都会へ集中させ築き上げた日本経済、輸出の花形「自動車産業」もアツという間の経済危機、犠牲となり続けた日本農業。

生活の基本、衣食住に目を向け慌てて打ち出した食料自給率向上対策は、津南の地域力再生に繋げる政治力が問われている。

力を合わせ頑張りましょう。(滝)



食料自給率のアップは自分達で